

生活と社会 (Living and Society)

経済学入門 (Introduction to Economic Science)

永井 真也・講師/四国大学

2単位 前期 月 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『経済学』)

【授業の目的】 マクロ経済学の基礎の習得を目的とし、その仕組みを理解する過程で、経済学的な思考方法を身につけていく。

【授業の概要】 まず、2つの大きな経済政策である財政政策と金融政策を理解してほしい。IS-LM 分析を中心に財政政策と金融政策を理解する。

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 必ず景気の循環は発生する。そして、人為的に景気を安定させようとしていて、政府によって経済政策が実施されるわけである。人為的な作用は、どこまで効果があるか考える術を見につける。

【授業の計画】

1. 経済学のイントロダクション
2. GDP
3. 景気循環 (1)
4. 景気循環 (2)
5. IS-LM モデル (1)
6. IS-LM モデル (2)
7. IS-LM モデル (3)
8. 国際マクロ経済学 (1)
9. 国際マクロ経済学 (2)
10. 国際マクロ経済学 (3)
11. インフレと失業 (1)
12. インフレと失業 (2)
13. 経済成長 (1)
14. 経済成長 (2)
15. 期末試験
16. 総括

【教科書】 中谷巖『マクロ経済学入門』日経文庫 945 円

【参考書等】

◇ 西村理・他「インタラクティブ・エコノミクス」(有斐閣)3700 円+税

◇ 西村理・加藤一誠「アウトルック日本経済」(萌書房)2000 円程度

【成績評価の方法】 期末試験で成績をつける。

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 毎回出席すること

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220745>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 永井 .

Living and Society

Introduction to Economic Science

Shinya Nagai · ASSOCIATE PROFESSOR / SHIKOKU UNIVERSITY

2 units 前期 月 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『経済学』)

Target) マクロ経済学の基礎の習得を目的とし、その仕組みを理解する過程で、経済学的な思考方法を身につけていく。

Outline) まず、2つの大きな経済政策である財政政策と金融政策を理解してほしい。IS-LM 分析を中心に財政政策と金融政策を理解する。

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) 必ず景気の循環は発生する。そして、人為的に景気を安定させようとしていて、政府によって経済政策が実施されるわけである。人為的な作用は、どこまで効果があるか考える術を見につける。

Schedule)

1. 経済学のイントロダクション
2. GDP
3. 景気循環 (1)
4. 景気循環 (2)
5. IS-LM モデル (1)
6. IS-LM モデル (2)
7. IS-LM モデル (3)
8. 国際マクロ経済学 (1)
9. 国際マクロ経済学 (2)
10. 国際マクロ経済学 (3)
11. インフレと失業 (1)
12. インフレと失業 (2)
13. 経済成長 (1)
14. 経済成長 (2)
15. 期末試験
16. 総括

Textbook) 中谷巖 『マクロ経済学入門』日経文庫 945 円

Reference)

- ◇ 西村理・他 「インタラクティブ・エコノミクス」(有斐閣)3700 円+税

◇ 西村理・加藤一誠 「アウトルック日本経済」(萌書房)2000 円程度

Evaluation Criteria) 期末試験で成績をつける。

Re-evaluation) 無

Message) 毎回出席すること

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220745>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Nagai .